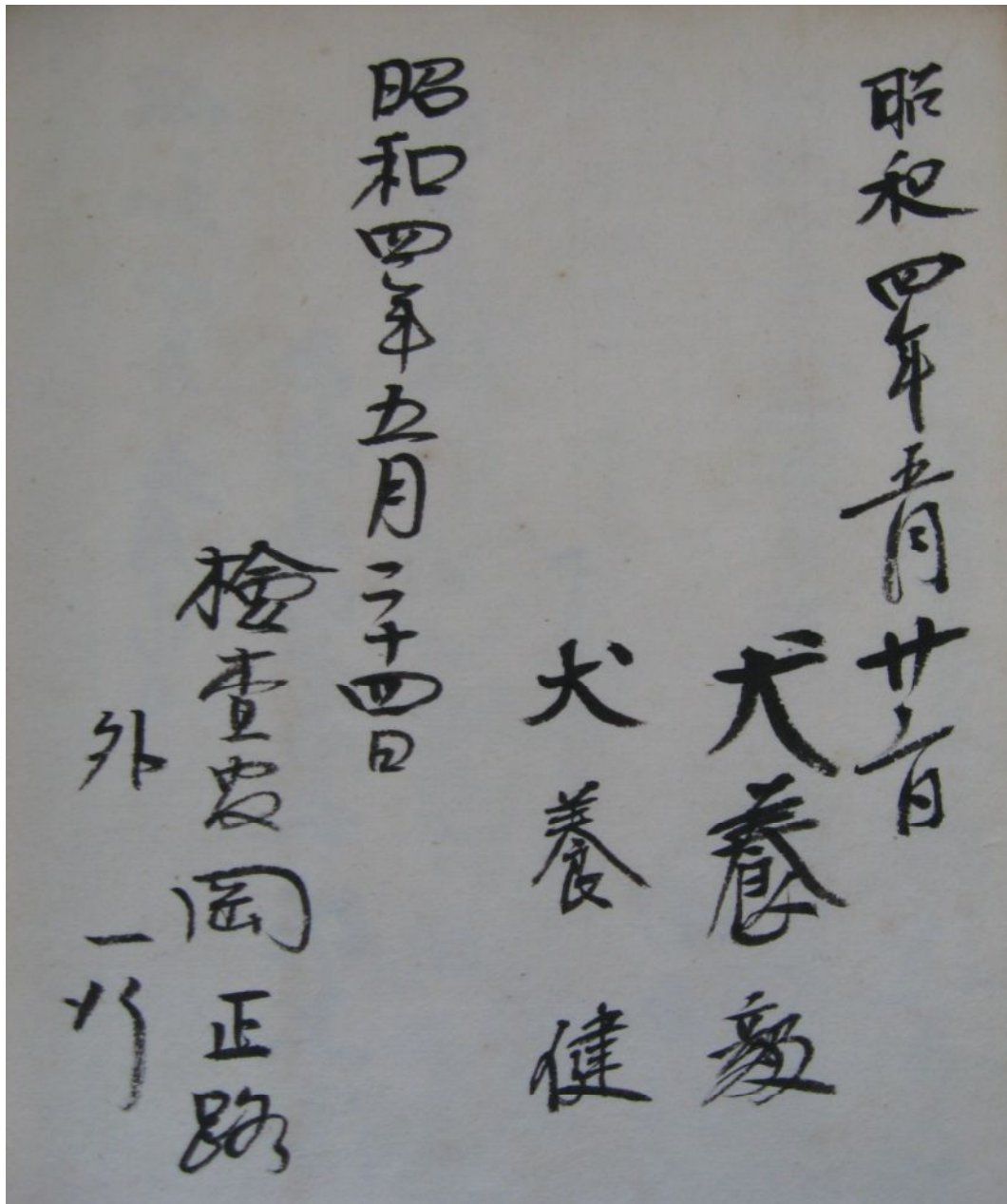


孫文移柩祭(南京) 参列の途中
犬養毅・健 父子 来崎

(孫文廟の完成式)



昭和四年五月廿一日

犬養毅

犬養健

昭和四年五月二十四日

検査官 岡正路

外一行

<記帳者の紹介>

犬養 毅 1885～1932

昭和7(1932)年の五・一五事件で殺害された首相

大正14(1925)年以来、政界引退を表明していたが、来崎の年(昭和4年)10月、政友会総裁就任、昭和6年12月首相に就任した。

犬養 健(ケル) 1896～1960

昭和29(1954)年造船疑獄事件の際、指揮権を発動し、佐藤栄作自由党幹事長(後ち首相)の逮捕を阻止した法相として著名(父は犬養毅、妻は長与専斎の孫)

学習院在学中、白樺派の影響を受け、作家を志していた。

昭和5(1930)年、総選挙で当選(政友会、東京選挙区)

(父の暗殺後、選挙区を岡山に移す)

日中戦争勃発後は、和平工作、汪兆銘政権樹立工作に関与

昭和23(1948)年、民主党総裁に就任

岡 正路

会計検査院 検査官(第三部第二課長)

本館所蔵『職員録 昭和四年八月一日現在』(内閣印刷局)に記載がある。



孫文移柩(霊)祭に招かれた人々として

- ・犬養毅
 - ・頭山満、令息
 - ・宮崎滔天未亡人、令息
- の写真が掲載されています。

犬養毅、健 父子の行程

5月21日 鉄道で、東京から神戸に移動。
航路で、神戸から長崎に移動。

5月22日 午前9時、長崎着。船中で新聞取材に応じる。
午前11時、歓迎午餐会(於 ; 迎陽亭)。その後、県立図書館を訪問。
午後1時、上海航路を利用して、上海へ向かう

6月1日 孫文移柩祭(南京)に参列

江戸時代、長崎奉行らも利用した料亭。
(建物・庭が残っているが、現在は閉鎖中)
本館から徒歩7分

註)東京～長崎を鉄道で移動する方法もありますが、犬養らの旅程の方が、より快適な移動方法でした。鉄道・航路、どちらも、長崎着は午前中でしたので、午後の上海航路出発まで、諏訪神社・諏訪公園(現在の長崎公園)を散策するのは、典型的なコースでした。

当時の県立図書館は、「交親館」と呼ばれていた県の迎賓館を利用しており、来館した著名人は、ここで南蛮史料や円山応挙の絵を見ることを楽しみにしていました。現在の日本銀行長崎支店の地には、商品陳列館があり、特産物を買うこともできました。